

環境社会貢献

世界各地で
持続可能な社会づくりに、
貢献しています。

持続可能な社会を実現するには、人間社会の基盤となる地球環境の保全や、豊かな社会づくりに向けて、「企業」「行政」「市民団体」のパートナーシップを築いていくことが重要です。リコーグループは、「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」という三愛精神^{*1}に基づき、企業として、そして社員一人ひとりの活動を通じて、世界各地で行政や市民の方々への積極的な働きかけや共同活動を推進してきました。2002年度からは、リコーグループ全体の環境社会貢献の目標^{*2}を設定し、世界各極の販売統括会社が中心になって活動を展開しています。また、リコーは継続して社会貢献を行うために、「社会貢献積立金制度」を設け、株主総会での承認のもと、毎年の利益から年間配当金を差し引いた額の1%(上限2億円)を積み立てています。2003年度は、「森林生態系保全プロジェクト」や「市村自然塾」の運営に活用されました。

*1 5ページを参照。

*2 33ページを参照。

国際ナショナル

森林生態系保全プロジェクト

現代は、「生物の大絶滅の時代」であり、たとえば哺乳類は、約4,620種類のうち1,130種類が絶滅の危機に瀕していると言われるほどです。その原因は、生息地の減少にあります。地球上には、森林、サバンナ、湖沼、珊瑚礁、海洋など、さまざまな生き物の生息地があり、それぞれに特有な生態系が保たれています。生態系が崩壊すれば、人類の生命維持に

必要な、水・大気・気候・土壌などの自然環境も崩壊する危険性が極めて高くなります。リコーは、多くの生態系の中でも、とりわけ生物多様性が豊かな「森林生態系」に注目して、「森林生態系保全プロジェクト」を展開しています。1999年度にスタートしたこのプロジェクトは、2002年度には8カ国11カ所に拡大しました。



多摩丘陵 さとやまの復元

社会貢献積立金より支援している活動

| 国名 | プロジェクト | | N P O | | |
|-------|----------------------|------------------|-----------------------|---------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| | 名称 | 特徴 | 名称 | 概要 | ホームページ |
| フィリピン | ホットスポット地域の森林保全と復元 | フィリピンシの住める森を残す | コンサベーション・インターナショナル | 32カ国、1,200名のスタッフが「生物多様性の保全」に資金と人材を集中させ、活動を展開。 | http://www.conservation.or.jp |
| マレーシア | ECOREGION200地域の森林の復元 | オランウータンの移動できる森作り | WWF | 生態系の保全から温暖化防止まで、生物多様性の保全に幅広く取り組む、世界最大の自然保護NPO。 | http://www.wwf.or.jp/ (WWFジャパン) |
| 中国 | ECOREGION200地域の森林の復元 | パンダの移動できる森作り | WWF | 同上 | 同上 |
| 日本 | 多摩丘陵 さとやまの復元 | ドジョウ・山椒魚の住める森を残す | 日本野鳥の会 | 「野鳥も人も地球のなかま」を理念に、野鳥とその生息環境の保全活動を実施。 | http://www.wbsj.org/ |
| 日本 | 長野黒姫アファンの森保全 | ヤマネの住む森作り | 財団法人 C.W.ニール・アファンの森財団 | 「人と多様な生き物たちが共生できる森づくり」をテーマに、森林の生態学的調査や研究、保全活動を実施。 | http://www.afanomor.com/ |
| 日本 | 沖縄 やんばるの森保全 | やんばるの森の住める森を残す | 日本野鳥の会 やんばる支部 | 沖縄本島北部のやんばるの森に生息する貴重な野鳥などの保全を目的に、平成4年に設立。 | |

各プロジェクトの特徴には、その地域でのFLAG Species(象徴的な生物)を記しています。プロジェクトはFLAG Speciesの保全だけでなく、その地域の森林生態系すべてを保存するために取り組んでいます。

会社経費より支援している活動

| 国名 | プロジェクト | | N P O | | |
|----------|----------------------|---------------------------|--------------------|-----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| | 名称 | 特徴 | 名称 | 概要 | ホームページ |
| スリランカ | 世界遺産地域の森林保全と復元 | スリランカ オナガの住める森を残す | スリランカ野鳥学グループ | スリランカにおける鳥類生態研究、野鳥を通じた国内外の自然保護活動を展開。 | |
| ブルネイ | マングローブ原生林の保全 | 世界でも珍しいマングローブの原生林を残す | ラムサールセンター | アジアにおけるラムサール条約(国際湿地条約)の普及と湿地の賢明な利用の実現を目的に活動。 | http://homepage1.nifty.com/rcj/ |
| バングラデッシュ | さとやまの復元 | 子供の教育と植林・育苗の仕事の提供 | ポーシュ | バングラデッシュにおいて、特に子供を対象にした環境教育を展開。植林活動も実施。 | |
| マレーシア | 水源林の復元 | 天然林復元をめざした水源地域の植林 | オイスカ | アジア太平洋地域での農村開発、緑化活動などを通して、地域住民の自立と環境保全を目指す。 | http://www.oisca.org |
| ガーナ | 日陰で育つコア林を利用したコリドーの回復 | 地域ココア産業を育成しながら天然林を残すモデル事業 | コンサベーション・インターナショナル | 32カ国、1,200名のスタッフが「生物多様性の保全」に資金と人材を集中させ、活動を展開。 | http://www.conservation.or.jp |

パートナーシップによる活動の展開

森林生態系の保全は、地元住民の方々の森林保全に対する理解と協力がなければ実現できません。そのため、リコーは環境NPOとのパートナーシップのもとに、地元住民の方々に対するきめ細かな配慮をしながら、原生林や天然林の保護、さとやまや雑木林などの管理・保全を進めています。2002年度は、マレーシア、スリランカの活動の視察を行い、行政や大学、地域住民の方々とのコミュニケーションも図りました。日本の企業が、自分たちの国や地域の自然に注目していることを知ることによって、各国の行政や市民の方々がその重要性に気づき、意識改革が図られることも、大きな社会貢献につながります。一方、日本でも、より多くの方々に活動に注目していただき、活動そのものの活性化が図れるよう、これらの活動を雑誌広告^{*1}やホームページのECO TODAY^{*2}で紹介しています。

^{*1} 70ページを参照。

^{*2} <http://www.rioh.co.jp/ecology/ecotoday>



マレーシアの活動の視察



スリランカの活動の再視察

2002年度の新規プロジェクト

2002年7月より「日本野鳥の会やんばる支部」とともに沖縄・やんばるの森林生態系保全プロジェクトを開始しました。リコーは、森林保全のための土地購入事業、環境啓発事業、啓発パンフレット・絵ハガキの作成、エコツアーのための簡易宿泊施設整備事業を支援していきます。2001年度よりプロジェクトを開始している長野黒姫アファンの森では、(財)C.W.ニコル・アファンの森財団の協力のもと、社員親子が自然を体験する「リコー親子自然教室」を開催しました。今後、この「リコー親子自然教室」を多摩丘陵さとやまでも実施する予定です。



日本・やんばるの森林の視察



やんばるの森絵ハガキ



リコー親子自然教室(アファンの森)

日本極

[行政・NPO・地域とのパートナーシップ]

リコー

生物多様性の保全を推進する日本経済団体連合会自然保護協議会に協力し、「自然保護宣言」の策定に寄与しました。

また、ほかにも、神奈川県(かながわ水源の森林づくり事業)や、日本自然保護協会^{*1}、日本生態系協会^{*2}、緑の地球ネットワーク^{*3}、オイスカ、オークヴィレッジ、パードライフアジア地区委員会などのNPOにも寄付を行っています。

^{*1} <http://www.nacsj.or.jp/>

^{*2} <http://www.ecosys.or.jp/eco-japan/>

^{*3} <http://member.nifty.ne.jp/gentree/>

リコーグループ生産系事業所

リコーグループは、日本全国の生産系事業所でごみゼロを達成しており、行政や企業の方々に対して、そのノウハウなどを積極的に開示しています。

主な生産系事業所の見学受入状況(2002年度)(人)

| リコー福井事業所 | リコー沼津事業所 | リコー御殿場事業所 | リコーユニテックノ |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1,617 | 2,223 | 2,304 | 2,020 |

リコー福井事業所

事業所周辺の空き缶拾いを毎月行っているほか、地元の坂井町と協力して公園、駅などのクリーンアップを年2回実施しています。また、事業所内に設けたピオトープを利用して幼稚園児から中学生までを対象とした自然教室や、土日には親子教室を開催しました。2002年度は、289人の子供達に参加しました。同事業所の環境担当者が福井県環境ガイドブック編集委員に参画する一方、県の産業廃棄物処理工場に事業所主催の子供向け環境教室の「エコツアー」を受け入れていただくなど、行政との連携を進めています。



福井事業所の自然教室

リコー計器

佐賀市と佐賀大学が共催した「佐賀市環境フォーラム」での講演や、佐賀県と佐賀市が共催した「ふるさと美化運動」に社員40名が参加するなど、積極的な地域交流や啓発活動を行っています。また、リコー計器の社員3名は、佐賀県の「環境サポーター」に任命され、県からの委嘱により、学校・企業・地域で実施する環境保全や温暖化防止対策などに助言・指導を行っています。8月には、子供達に関心の高いクワガタ虫の育成体験を通じて、自然環境の大切さを学んでもらうために「自然環境とクワガタ虫の育成」講座を開催しました。参加した子供達からは「節電や緑を大切にすることがクワガタ虫にも喜ばれることがわかった」などの声が寄せられました。



自然環境とクワガタ虫の育成講座

リコー御殿場事業所

事業所内に設けたビオトープ「ふるさとの森」に、地元の学校の子供達が生き物の観察に訪れます。御殿場事業所では、御殿場市との連携により、生き物のすみを点から線へ、線から面へと少しずつ増やす努力を続けています。

リコーエレメックス

恵那事業所では、2000年度より「エコ教室」を開催しています。2002年度は、地元の恵那市が開催する「出前講座」に登録し、自治体や中学校でエコ教室を開催しました。また、岡崎事業所では2002年9月、地元の小学5年生4クラスを招いて、4回目の

「エコ教室」を開催しました。岡崎市北山湿地の保全ボランティア活動にも社員が定期的に参加しています。



岡崎事業所のエコ教室

リコーユニテクノ

2000年度に、工場排水を利用して、メダカの飼育を開始しました。自然の尊さを子供達に学んでもらうために、工場見学のコースに入れていました。2002年度は400名の小・中学生達が見学に訪れました。また、近隣の大首根ビオトープを守る活動にも積極的に参加しています。

市村自然塾(子どもたちの健全育成)

市村自然塾は、「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念に設立されたNPOです。小学4年生から中学2年生の男女別に、隔週末2泊3日・18回にわたって、農作などの自然体験活動を行います。2002年3月に開塾した「市村自然塾 関東」では、一期生30名が12月に元気に卒塾しました。また2003年3月、市村清生誕の地である佐賀県にも、リコー三愛グループのコカ・コーラウエストジャパンが中心となり、「市村自然塾 九州」が開塾しました。

市村自然塾は、リコー三愛グループ創業者である市村清の生誕百周年を記念して2001年度にスタートしたプロジェクトです。 <http://www.szj.jp>



稲刈り(市村自然塾 関東)

[社員啓発と社員の活動]

環境ボランティアリーダーの養成

リコーグループは、環境問題を解決するためには、社員一人ひとりが自主的に社内外で活動を実践することが重要だと考えています。しかし、日本では欧米に比べて、市民団体に参画する人や、ボランティア活動に携わる人が極端に少ないのが現状です。社員のボランティア活動を推進するためには、まず企業が社員の意識啓発を行うことが重要になります。また、社員の「自然環境を守りたい」という意識が持続するような「感動」を与える研修を実施するには、環境保全の先駆者である環境NPOの方々の力を借りることも効果的です。リコーグループは、1999年6月からリコー社員を対象にした「環境ボランティアリーダー養成プログラム」をスタートさせ、2001年度にはリコーグループ社員および退職者を含むプログラムへと拡大しました。2002年度末までに196名のリーダーを養成しました。リーダーには役員も含まれています。プログラムは「リコー自然教室」と「環境ボランティアリーダー全社会議」から構成されており、研修後の活動を推進するための支援も行います。自然教室で研修を受けた後、各リーダーは、それぞれの所属する部署や地域を巻き込んで、環境ボランティア活動を展開します。

リコー自然教室

リコー自然教室は、自然の楽しみ方や、環境保全活動の実践方法を身に付けた「環境ボランティアリーダー」を養成することを目的にしたプログラムです。毎回15名程度の希望者を対象に、2日間の研修を行います。通常は、環境NPO「日本野鳥の会」鳥と緑の国際センターで開催され

ますが、2002年度は、大阪の池田事業所でも「初級コース」を開催しました。初級コース修了者を対象に、2001年度より子供達に自然体験を指導できるリーダーを育成するための「中級コース」を開催し、2002年度は14名のリーダーを育成しました。また、2002年度からは、森林保全活動を行えるリーダーを育成するための「森の教室」を開催し、12名のリーダーを育成しました。



第12回 リコー自然教室
「初級コース」
(リコー池田事業所)



第1回 リコー森の教室(アファンの森)

環境ボランティアリーダー全社会議

環境ボランティアリーダー全社会議は、リーダーの活動のフォローアップを目的としたもので、リーダー各自が主催した活動について報告し、リーダー同士の交流を深め、新しい知識を得て、活動の質を高めるための場です。2002年度は3回の全社会議を開催しました。



第10回 環境ボランティアリーダー
全社会議
(リコー御殿場事業所のピオトープ)

環境ボランティアリーダーの活動

2002年度は32回の活動が開催され、延べ744人が参加しました。継続的な活動が増えていることも近年の特徴です。



里山の雑木林管理(秦野震生湖)

生き物たちが集まる雑木林の保全、自然観察、しいたけづくりなどの活動を、ほぼ毎月1回のペースで行っています。



古民家周辺の景観保全(せせらぎ公園)

横浜市の公園にある古民家周辺の景観保全活動を2カ月に1回、定期的に行っています。



公園周辺のクリーンアップ(福岡・大濠公園)

リコー九州や福岡地区のグループ会社の社員・家族が、福岡市の公園周辺クリーンアップイベントに参加し、たくさんのごみを集めました。



ビーチクリーンアップ(鎌倉・材木座海岸)

毎年、鎌倉市の海岸に社員の家族・友人が集まり、海岸の清掃とサンドクラフトを行っています。



水源林の保全(やどりき水源林)

神奈川県の水源地保全計画に協力して、水源林保全、自然観察、植林などの活動を行っています。



環境イベントへの出展(鶴見川)

地元の環境NPO「みどり・川と風の会」主催のイベントに参加し、河川敷の清掃や、子供たちに竹笛づくりを教えました。



富士山の清掃登山

リコー秦野事業所の有志が富士山に登り、山頂付近や登山道の清掃を行いました。

富士山はごみが多いため「世界遺産」に登録されませんでした。

米州極

アメリカ、メキシコ/社員のボランティア活動

アメリカの生産拠点であるリコーエレクトロニクス(REI)およびその子会社であるメキシコのリコーインダストリアル・デ・メキシコ(RIM)では、社員の環境ボランティアチーム「H・O・P・E(Helping Others and Protecting Our Environment)」が結成されています。2002年度は、カリフォルニアでの運河清掃、ジョージアでの道路清掃、メキシコでの植林を行いました。



運河清掃(カリフォルニア)



道路清掃(ジョージア)



植林(メキシコ・トルーカ)

メキシコ/森林生態系保全

米州の販売統括会社リコーコーポレーションと中南米の販売会社リコーラテンアメリカは、NPO「WWF* US」と共同で、メキ

シコ・タラウマラの森林・水源・生態系保全プロジェクトを推進しています。リコーコーポレーションは、アメリカに拠点を置いています。ビジネスを行う地域において環境社会貢献を行うことが、企業の社会的責任という視点からも重要であるという考えにより、メキシコでのプロジェクト支援を決定しました。

* 世界自然保護基金(World Wide Fund for Nature)

カナダ/地域への環境貢献

販売会社のリコーカナダは、オンタリオ州の販売代理店ウィルソンズ・ビジネス・ソリューションズ様と共同で、市内の空き缶リサイクル活動を推進しています。サンダーベイ市内300カ所の回収容器から集められた空き缶は地域のリサイクル会社に送られ、収益金はすべて地方の慈善団体に寄付されました。また、2002年7月にトロント市と環境調査局が開催したコンテスト「トロント・グリーンエア通勤」に、社員26名が参加し、環境負荷の少ない通勤を1週間実践しました。

コスタリカ/森林生態系保全

販売会社のレニエコスタリカは、NPOと共同で、ロスアルプスでの植林を行いました。植林には、社員だけでなく社員の家族も参加しました。また、同社はこのNPOに複写機の寄付も行っています。

欧州極

グリーン活動とグリーンファンド

欧州の販売統括会社リコーヨーロッパは、「環境負荷削減とコストダウンを図るグリーン活動」と「削減できたコストを基金に環境保全を支援するグリーンファンド」を組み合わせた活動を展開しています。

2002年度は、省エネ活動によって約275トンのCO₂排出量(469m²の森林の年間吸収量に相当)を削減し、紙の使用量削減などと合わせて約180万円のコストダウンを実現しました(2000年度比)。さらに、これを基金として、2003年3月、「ウッドランドトラスト*」による森林の生物多様性保護活動を3年間支援する覚書を交わしました。今後は、各年度の環境負荷削減活動によるコストダウン金額が充てられます。ウッドランドトラストは1972年に創設されたNPOで、「太古の森林の減少を防ぐ」などの目標を持ち、現在1,100カ所以上・約19,000ヘクタールの森林を保全しています。

* <http://www.woodland-trust.org.uk>

ベルギー/CO₂排出削減と森林保全

販売会社のリコーベルギーは、リコーヨーロッパの「グリーンファンドによるグリーン活動」を実践するために、社用車91台の省エネを図るとともに、活動によって削減できた金額で植林などを行い、総合的にCO₂排出量をゼロにする「CO₂ゼロ計画」を進めています。環境や安全運転に関するポリシーを策定するとともに、フレックスタイム制を導入して交通渋滞時の自動車通勤を避けたり、社用車の配車システムを改善するなどして、CO₂排出量の削減を推進しています。

イギリス/森林生態系保全プロジェクト

ロンドンに拠点を置くNRGグループ本社は、ナシュアテック、レックスロータリー、ゲステットナーの各ブランドの事業運営とNRGグループ各社への販売サポート機能を統括しています。同社では、イギリスの環境保全団体「フューチャーフォレスト*」とのパートナーシップによる活動を



フューチャーフォレストのメンバーとNRGグループ本社、リコーヨーロッパの環境スタッフ

展開しています。フューチャーフォレストは世界中の森林や環境プロジェクトへの投資を行っており、CO₂排出量と木の本数に関して「人間1人1年間の呼吸で1本」「オフィスの暖房・照明・パソコンで1人1年間2本」など、わかりやすい換算値を公表しています。NRGグループ本社は2002年12月、グループの全社員に1本10ポンドで植樹を募りました。社員からは、愛する人に捧げるなどの目的で24本の購入があり、会社が同じ本数を支援した合計48本の植樹が行われました。

* <http://www.futureforests.com>

中国 極

深圳(シンセン)/植林活動

深圳の生産会社リコーアジアインダストリー(RAI)は、2002年6月5日の「世界環境日」、深圳市海辺公園の美化のために、社員26人が参加し18本の植林を行いました。また2003年3月11日、中国の植林日(3月12日)にちなんで開催された、深圳市の企業植林活動にも参加しています。



世界環境日に行われた植林活動

アジア・パシフィック極

オーストラリア/子供の環境教育支援

販売会社リコーオーストラリアは、社会的責任プログラムの一環として、シドニー郊外にあるワリモー公立学校の環境教育プログラム「アースキーパー™」を支援しています。アースキーパー™は、生態系の仕組みやオーストラリアの環境問題を学ぶ5~6歳の子供向けのプログラムで、そのための4つの教室のオープニングセレモニーが3月に開催されました。リコーオーストラリアは、植林の苗木代や教材の印刷費として10,000オーストラリアドルを寄付したほか、活動を記録するためのデジタルカメラを寄贈しました。



ワリモー公立学校でのオープニングセレモニー

ニュージーランド/社員のボランティア活動

販売会社リコーニュージーランドのボランティアグループは、10~11月の2回の週末、4日間に渡って、森林警備隊員の指導のもとに、ワイタケアの林道メンテナンスプロジェクトに参加しました。道標は付け替えられ、ぬかるんだ狭い道も、砂利で覆われた広く歩きやすい道に変貌しました。今後は植林なども行っていく予定です。リコーニュー



リコーニュージーランドのボランティアグループ

ジーランドは、この林道にデッキや階段を設置する費用を寄付することにしました。

香港/森林復興支援

販売会社リコー香港は、香港・西貢(サイクン)にある山火事で消失した山林の復興を、2001年度より継続して支援しています。3年間で10,000本の植林を支援し、2003年度まで継続する予定です。

タイ/象の保護

タイでは、国のシンボルである象が減少しています。これは、象の生息地であり餌でもある森林の減少によるものです。リコータイランドは、タイ北部のランパン地方で活動を行う「タイランド象保護センター」に複写機などの寄付や経済的支援を継続的に行っています。



タイ北部のランパン地方に生息する象

タイ/社員のボランティア活動

タイの中央地域では、2002年9月に洪水が発生しました。リコータイランドの社員は、被災者の方々に食糧や服を寄付しました。



被災者の方々への寄付